

## 米国 I S M製造業景気指数 (13年1月)

発表日：2013年2月1日 (金)

～「財政の崖」回避やハイテク循環等により製造業の拡大モメンタムは勢いを増した～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

### I S M製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
12/01	53.7	56.5	54.9	55.3	49.5	52.2	52.5	55.5	55.0	52.5
12/02	51.9	54.9	54.8	52.1	49.5	48.4	52.0	61.5	59.5	54.0
12/03	53.3	56.8	55.9	55.6	50.0	48.0	52.5	61.0	54.0	53.5
12/04	54.1	57.6	59.0	56.8	48.5	48.7	49.5	61.0	59.0	53.5
12/05	52.5	57.2	54.1	55.9	46.0	49.2	47.0	47.5	53.5	53.5
12/06	50.2	49.6	52.4	55.7	44.0	49.5	44.5	37.0	47.5	53.5
12/07	50.5	47.5	53.3	53.2	49.0	49.7	43.0	39.5	46.5	50.5
12/08	50.7	48.9	48.9	52.6	53.0	50.2	42.5	54.0	47.0	49.0
12/09	51.6	51.7	51.4	53.7	50.5	50.5	44.0	58.0	48.5	49.5
12/10	51.7	52.8	53.3	52.3	50.0	49.9	41.5	55.0	48.0	47.5
12/11	49.9	51.1	53.1	50.1	45.0	50.1	41.0	52.5	47.0	48.0
12/12	50.2	49.7	52.6	51.9	43.0	53.7	48.5	55.5	51.5	51.5
13/01	53.1	53.3	53.6	54.0	51.0	53.6	47.5	56.5	50.5	50.0

(出所) I S M : the Institute for Supply Management

### I S M製造業景気指数 は53.1と前月比2.9% ポイント上昇

13年1月のI S M製造業景気指数は、53.1と拡大縮小の分岐点である50を2ヵ月連続で上回ったうえ、前月比で2.9%ポイント上昇し、製造業の拡大モメンタムは強まった(市場予想中央値50.7、当社予想49.8)。米国国内最終需要が緩やかながらも拡大傾向を辿る中で、減税の延長などによる財政の崖回避、在庫不足、世界的なハイテク部門の調整進展等を背景に、新規受注、生産、雇用、在庫が上昇した。総合指数への構成項目別の寄与度では、在庫(前月比+1.6%ポイント)、新規受注(前月比+0.7%ポイント)、雇用(前月比+0.4%ポイント)、生産(前月比+0.2%ポイント)が押し上げ寄与となったほか、入荷遅延(前月比+0.0%ポイント)が変わらずとなったため、総合指数は前月比+2.9%ポイント上昇した。

なお、過去に遡って改定が行われ、全体的に変動が小さくなった。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

## 拡大した業種は13業種 に増加

活動の拡大した業種数は、全18業種中13業種（前月7業種）で増加した。拡大した業種は、プラスチック・ゴム、繊維、家具・同関連製品、印刷・同関連支援、アパレル・皮革・同製品、コンピューター・電子機器、その他製造業、加工金属、輸送機器、石油・石炭、一般機械、一次金属、食品・飲料・タバコ。一方、縮小した業種は4業種（前月9業種）に減少した。

新規受注の拡大した業種数は10業種（前月5業種）に増加した。新規受注で拡大した10業種（5業種が縮小）は、繊維、印刷・同関連支援、家具・同関連製品、アパレル・皮革製品、コンピューター・電子機器、加工金属、石油・石炭製品、一般機械、輸送機器、一次金属。

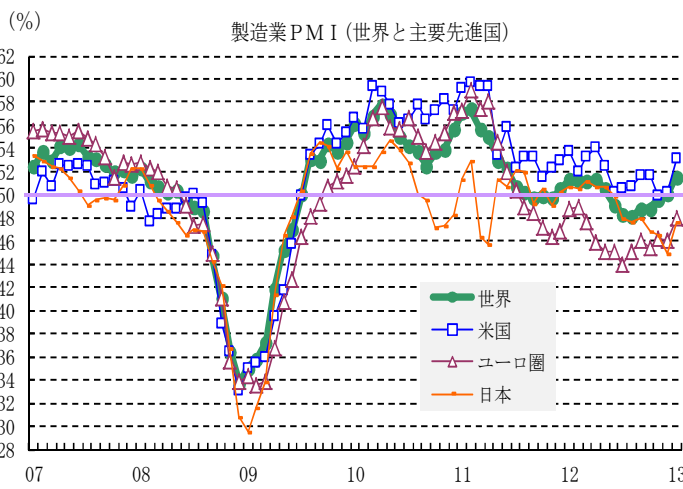
生産の拡大した業種数は9業種（前月5業種）に増加した。生産で拡大した9業種（6業種が縮小）は、コンピューター・電子機器、繊維、プラスチック・ゴム製品、その他製造業、アパレル・皮革製品、加工金属、家具・同関連製品、一次金属、輸送機械。

（注）下線は拡大を続けた業種

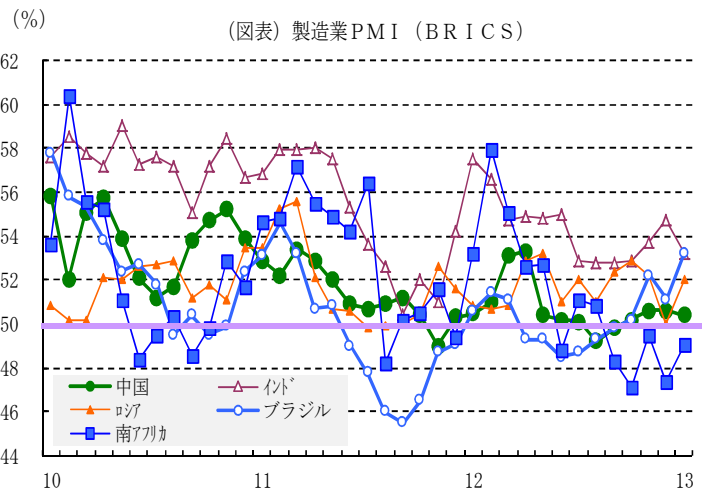
## 1月の世界製造業PMI Iは拡大モメンタムを 強めた

1月の世界製造業PMIは51.5（前月50.1）と前月から上昇し、2ヵ月連続で50を上回った。在庫調整の進展によって、グローバルな製造業部門の調整が終了し、拡大モメンタムが強まっている。50を下回った国は、日本、ユーロ圏、スウェーデン、豪州、ポーランド、韓国、インドネシア、南アフリカなど。

一方、50を上回った国は、米国、中国（国有企業中心）、中国（中小企業中心）、英国、アイルランド、デンマーク、ノルウェー、台湾、インド、ロシア、ブラジル、トルコ、ハンガリー、ベトナムなど。



（出所）ISM、Markit Economics



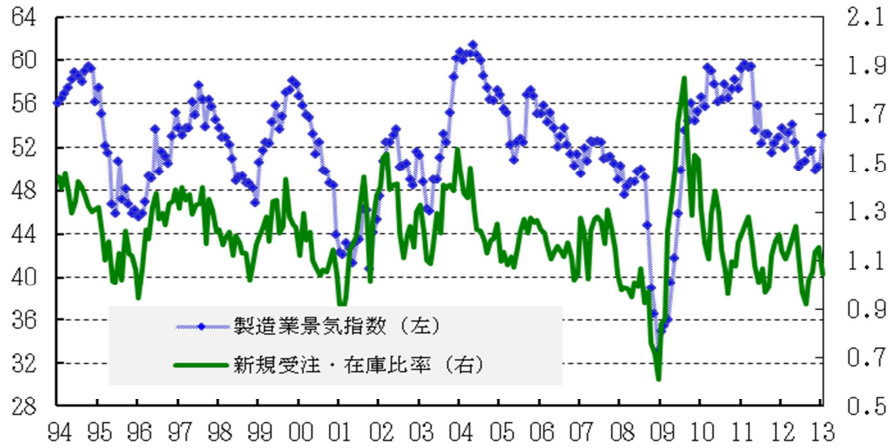
（出所）Markit

## ISM製造業景気指数は 緩やかな拡大を示す水準 を維持する見込み

今後に関しては、世界経済の持ち直し、米国企業が過剰な在庫や雇用を抱えていないほか、緩やかながらも持続する米国内需要の成長などに下支えされ、製造業部門の拡大を示す水準を維持すると予想される。ただし、1月に大幅に改善した反動やトレンドの変化に先行する新規受注・在庫比率が低下しており、2月のISM製造業景気指数は小幅低下すると見込まれる。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

ISM製造業景気指数と新規受注・在庫比率の推移



(出所) ISM

**前年比で輸出が減少する可能性**

輸出受注DIは、1月に50.5と前月比1.0%ポイント低下したが、拡大縮小の分岐点である50を上回った。世界PMIも50を上回るなど、世界的な製造業の在庫調整の進展により、持ち直しの兆しが見られた。ただし、6か月間50を下回っていたことから、米国の輸出が前年比ベースで減少に転じる可能性が高い。オバマ政権による5年で輸出倍増計画の達成に黄色信号が点灯している。

**各国の米国向け輸出は今後加速する可能性**

輸入DIは、1月に50.0となり、前月比1.5%ポイント低下した。一方で、新規受注DIが53.3と50を上回っていることから、日本など先進国のほか、BRICS等の新興国の米国向け輸出の拡大ペースは、今後加速する可能性が高い。

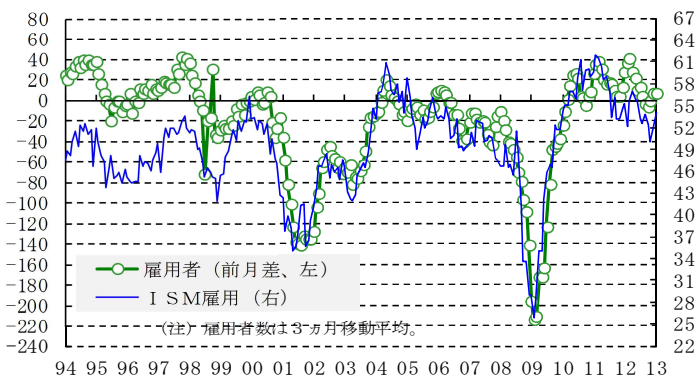
**雇用DIは54.0と製造業雇用の小幅増加を示唆**

雇用DIは、1月に54.0と前月比2.1%ポイント上昇しており、製造業部門雇用者数の小幅増加を示している。ただし、米国経済や政策の先行き不透明感、価格競争の激化によるコスト削減圧力を背景に、製造業部門での雇用の回復ペースは鈍い状況が続こう。

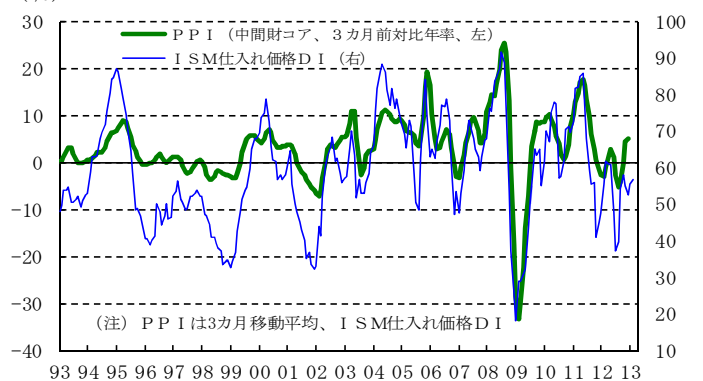
**仕入価格DIは56.5と上昇したものの、川中でのインフレ圧力は弱いまま**

仕入価格DIは、1月に56.5と前月比1.0%ポイント上昇したが、水準が低いことから、川中でのインフレ圧力は弱いままと判断される。

(千人) ISM雇用判断と製造業雇用者数の推移



(%) 生産者物価とISM仕入れ価格DIの推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。